



第1会場●2F 第4研修室

■司 会／内村 文雄 島根県益田市教育委員会市民学習課 派遣社会教育主事
椋本 博志 長崎県社会教育支援「草社の会」事務局

分科会の進め方

13:30~13:35

1 夢街道「岩国往来」の復元を起点とした地域活性化プロジェクト ー協働が蘇らせた歴史に埋もれた「岩国往来」ー

13:35~14:05

藤森 勝彦(山口県岩国市) 岩国往来まちづくり協議会 会長

岩国往来は1600年代に開かれた岩国藩、萩藩に関わる歴史の道であるが、大正時代に利用されることなく忘れ去られた道です。2005年、「往来」沿いの一里塚調査をきっかけに「岩国往来まちづくり協議会」を設立した。沿道の各自治会の協力を得て、道を整備し、駕籠立場、一里塚などを復元。2008年、「夢街道ルネサンス」に認定され、2012年には国土交通大臣から「手づくり郷土賞」を受賞した。岩国往来の復元を契機に、街道沿いの本郷、美和、岩国の歴史、文化、自然を再発見し、対外的にまちをPR、活性化の一助とするため、様々なウォーキングプロジェクトを提唱・実施している。

2 子どもチャレンジ塾

14:10~14:40

幾田 奉文(広島県東広島市) 生涯学習ボランティアグループ ふれあいHEARTS 代表

学校週5日制を念頭に置いた地域センター(旧:公民館)と地域の生涯学習指導集団との協働事業である。活動は原則として土曜の午前中、場所は社会教育関連の各種公的機関を活用。実費は受益者負担を原則とし、「木工・クラフト・陶芸などのものづくり」、「ニュースポーツ」、「カルタなどの伝統あそび」などを通して、子どもたちの社会力を高め、また子どもたちが「子どものためのルール」を守るように規範の育成にも努めている。活動の成果は地域社会に展示、公開して、地域における子どもたちの社会力の必要性を訴え、より多くの子どもが参加できる体制を整えるべく努力している。

ティータイム

14:40~15:05

3 地域資源「白木湧水」を活用したコミュニティ活性化事業の波及効果

15:05~15:35

山口 素子(福岡県朝倉市) 杷木コミュニティ協議会 事務局長

杷木地区にはコミュニティ協議会があり、各行政区や団体等を対象に地域活性化の方途を探るコミュニティ活性化事業、「地域づくり懇談会」を実施している。白木区には人目につかない場所ではあるが昔から湧水があったため、懇談会の中でその湧水を活かした地域活性化事業を検討した結果、湧水を使った「そうめん流し」やけんちん汁などのバザーメニューの提供、その他、この活動に賛同した団体による遊休農地を利用したそば栽培やそば打ち体験などの事業が生まれ、地域活性化事業のモデルとなった。次の段階では、白木区での取り組み経過をモデルとして地域に波及させ、順次行政区ごとに「地域懇談会」を進め、それぞれの地区の特色を活かした地域づくり活動を展開し、最終的には各地区の活動をマップに落として地域めぐりができるようなプログラム作成を模索している。

4 「ふるさとづくり」とは何か、どうしたのか、どうなったのか ー大田ふるさとづくり協議会の挑戦ー

15:40~16:10

野上美喜子(大分県杵築市) 大田ふるさとづくり協議会 副会長

「協議会」は平成22年の設立。「自分たちの地域は自分たちでつくる」を理念とし、構成は地域内の多様な団体。平成26年設立予定の「大田小学校」の開校準備作業を中核として、団体間のネットワーク化を進め、機能の相互補完を図りながら、交流の促進と地域課題の解決に取り組んでいる。活動内容は「ウォーキングを通じた世代間交流」、「独り暮らしの後期高齢者の生活支援」、「新春風揚げ大会」などがある。高齢化率はすでに50パーセントに近いが、住民の健康意識は高く、元気な高齢者が多い。